



## 工事完成のご紹介

### 工事名「山元海岸笠野工区堤防工事」

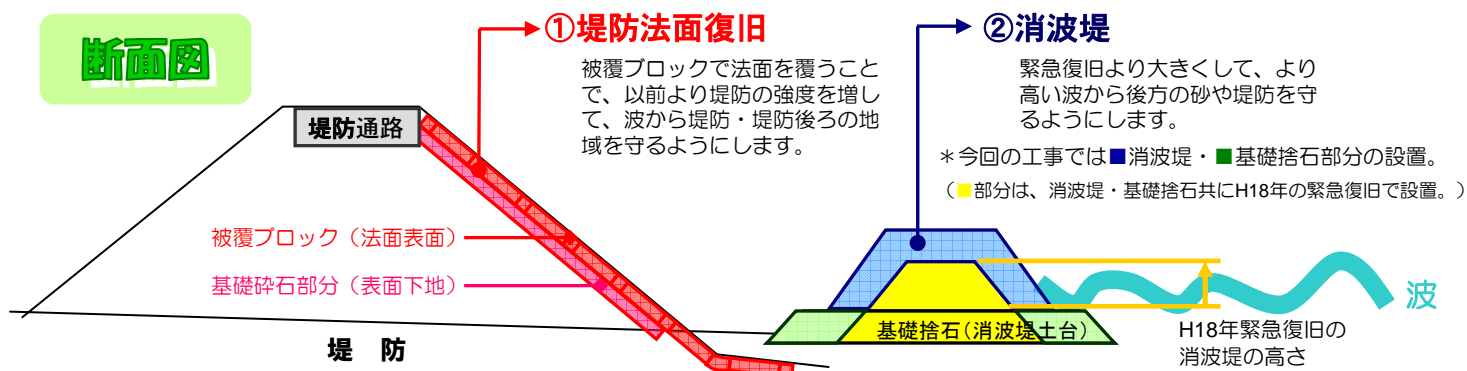
施工業者「阿部春建設㈱」 / 工事検査日 平成20年2月1日

検査を終えて完成した「山元海岸笠野工区堤防工事」のご紹介です。



この工事は、平成18年10月の低気圧で被災を受け、当時緊急的に復旧作業を行った箇所について、堤防などの本格的な復旧工事を行うものであり、**堤防法面の復旧**を長さ約190mに渡って行い、そして、昨年の緊急復旧時に一部暫定形で施工した**消波堤72m**をひと回り大きくして完成形とし、再度災害防止のために海岸保全施設の強化を図ったものです。

### 断面図

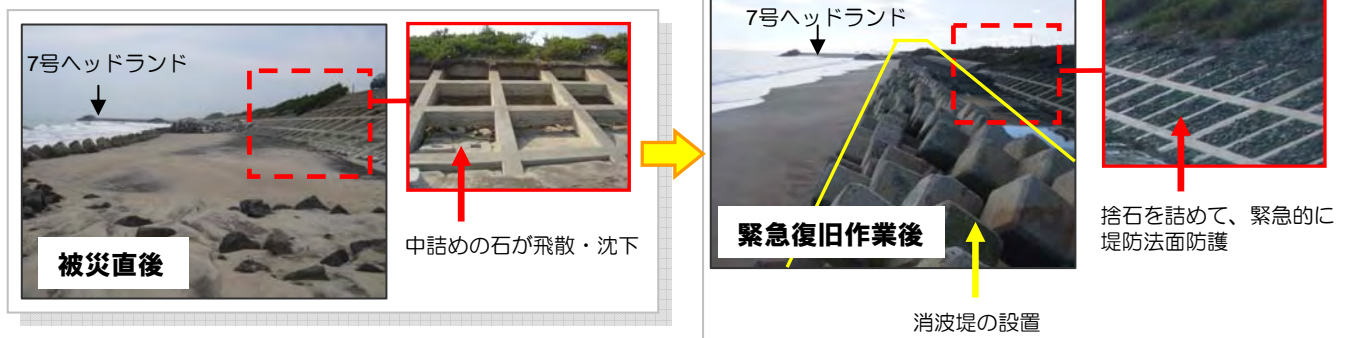


### 今回の工事紹介の前に。

#### 平成18年の被災・緊急復旧の様子

～山元海岸笠野工区堤防工事に至るまで～

平成18年10月に起きた低気圧の高波で、砂浜が侵食され堤防の中詰めが飛散・沈下する被災が発生し、被災直後から約2週間24時間施工で、再度の被害を防ぐため緊急的な仮復旧作業を行いました。





# ◆ ◆ ◆ 山元海岸笠野工区堤防工事の完成まで ◆ ◆ ◆

## ①堤防法面の復旧作業



着工前

H18年に緊急復旧した堤防法面。



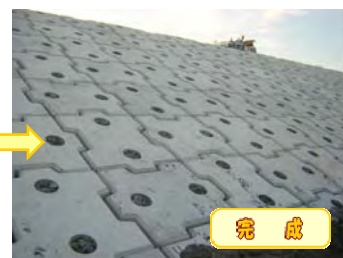
工程1

以前の堤防法面部分を撤去。



工程2

堤防法面に砕石を敷き詰め下地を施工。



完成

砕石の上に、被覆ブロックを被せ、法面を防護し完成。

## 堤防法面原形復旧部分

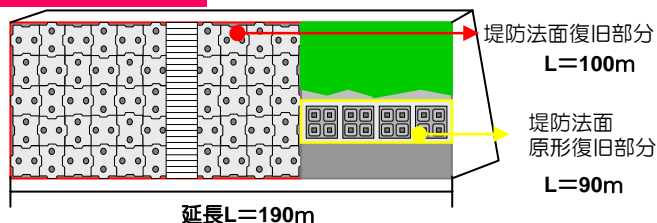


コンクリート打設中



一部の原形復旧部分は、中詰石などが飛散・沈下しないように、コンクリートで中詰めブロックの根固めを行い、中詰石を詰め、外見はH18年の被災前の堤防と同じ形に復旧しました。

## 堤防法面図



## 堤防通路部分



堤防通路天端部分はアスファルトで舗装をし直しました。



◆この工事では、**工程1** で壊した、以前の堤防材料を再利用しております。



格子部分のコンクリートは、バックホウで砕き、コンクリートと鉄筋に分別。コンクリートを砕いた物を「工程2」の砕石として使用しました。



着手前の格子の中にあつた中詰石は、今回使用した被覆ブロックの穴部分の中詰石として再利用。また、原形復旧部分の中詰石にも使用しました。



コンクリートを砕いた石

鉄筋



中詰石

## ②消波堤の設置



着工前

H18年の緊急復旧時設置の消波堤防。



消波堤（緊急復旧時）

消波堤（今回工事）

緊急復旧設置時の消波堤を包むように、今回工事の消波ブロックを積み重ね並べて、更に高く大きくして、高い波に耐えられるようにします。



完成

以前の消波堤を包むように、ひと回り大きくなった消波堤の完成。